

『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成19年 6月13日	
		作成部署	土木建築部河川整備管理室	
事業名	小西川地域防災対策整備事業	構想番号	(土・河整) 構-19-02	
		地区名	京丹後市峰山町御旅	
概算事業費	約3.0億円	事業期間	平成19年度～平成22年度(予定)	
事業概要	過去に浸水被害が発生しており、流下能力も低いことから、河川の護岸改修を行う。L=740m			
関連する公共事業				
ガイドライン		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
	主要な評価の視点			
地球環境・自然環境	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化 (CO₂排出量等) 地形・地質 物質循環 (土砂移動) 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 など 	現況の河床は土砂の移動が可能であり、土砂移動の連続性を妨げないことが必要である。	河床は土砂の移動が可能な構造とし、下流への土砂供給に配慮する。	△
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> 水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質 粉塵 電磁波・電波・日照 など 	人家が連担しているため、低水路の矢板施工については、騒音・振動の発生抑制が必要である。	低騒音・低振動の工法、施工機械により、公害の発生を防止する。	△
地域個性・文化環境	<ul style="list-style-type: none"> 景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行祭事 地域住民との協働 など 	施行地の河川は、北部の中心市である京丹後市の中心市街地に隣接している。また、商店街があり活気のある地域であるため、まちづくりと一体となった整備が必要である。	河川断面を確保するため、河床を一部切り下げる形で低水路を整備することから、周辺のまちなみや景観に配慮した護岸整備を実施する。	△
地域の環境像	施行地周辺は人家、商店街が隣接する京丹後市の中心市街地にあり、地域住民が身近でやすらぎを感じることができるような河川の整備が必要である。			
特記事項				